

2022年度事業報告書

期間：2022年1月1日～2022年12月31日

千葉県松戸市古ケ崎1-3069-1
リリファ松戸A306

特定非営利活動法人
日本デフバスケットボール協会
理事長 佐知 樹一郎

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会は、全国におけるデフバスケットボールの普及及び振興を図り、選手の育成とそのレベルアップを図るとともに、デフバスケットボールを通して、人類全体の健康増進と国際交流に寄与することを目的とし活動してきた。緊急事態宣言などの影響で活動に制限はあったものの、感染予防に配慮し実施できる事業を継続して実施した。

2 事業の実施に関する事業

特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
競技	第19回全国デフバスケットボール大会	R4.3.4-6	不明 (石川県金沢市)	中止	全国のJDBA会員 その他
共通	デフバスケットボール交流会	R4.5.21-22	奈良市立総合福祉センター (奈良県奈良市)	10名	全国のJDBA会員 その他
共通	第1回デフバスケットボール 男女日本代表選考合宿及び育成合宿	R4.7.1-3	福島県棚倉町総合体育館 (福島県棚倉町)	8名	日本代表候補 及びスタッフ
普及	第1回サマーキャンプ	R4.8.20-21	ならはスカイアリーナ (福島県檜葉町)	4名	全国のJDBA会員 その他
普及	第1回3x3デフバスケットボール大会 (3x3 ENEOS CUP 2022)	R4.10.22	水元総合スポーツセンター (東京都葛飾区)	5名	全国のJDBA会員 その他
普及	デフバスケットボール 女子日本代表選考合宿	R4.11.5-6	清水NTC (静岡県清水市)	6名	日本代表候補 及びスタッフ
普及	デフバスケットボール 男子日本代表選考合宿	R4.11.11-13	有明アリーナ 他 (東京都江東区)	3名	日本代表候補 及びスタッフ
普及	第9回全日本デフバスケットボール選手権大会 (ENEOS CUP 2022)	R4.12.11	横浜ラポール 他 (神奈川県横浜市)	7名	全国のJDBA会員 その他
広報	HP作成及び更新	通年	全国	1名	全国のJDBA会員 その他

3 競技者の強化に関する事業

〔男女日本代表選考合宿〕

＜目的＞

日本代表事業をメインに、代表を目指している選手の強化・レベルアップを図り、サインバスケットボールの追求と普及を進め、社会に対するデフノーマライゼーションを邁進してきた。

〔男女日本代表講習会〕

＜目的＞

日本代表関係者（候補含む選手、スタッフなど）を対象とした講習会を開催し、デフとしての誇りを正しく持ち、また競技者として日本を代表する心構えと、社会から応援される人間性を身につける。

＜内容＞

オンラインセミナー形式

4 競技者の育成に関する事業

〔育成合宿〕

＜目的＞

継続的かつ将来的な日本代表チームの強化を目的としたディベロップメントキャンプのように、代表を目指している選手の強化・レベルアップを図り、サインバスケットボールの追求と普及を進め、社会に対するデフノーマライゼーションを邁進してきた。

〔B級審判ライセンス保有のデフから学ぶ講習会〕

＜目的＞

バスケット競技の新ルールが年ごとに変わっていくので、勉強すると共に、審判資格に興味を持つように講習会を行った。

＜内容＞

有償オンラインセミナー形式

〔手話ができるS&Cコーチから学ぶ講習会〕

＜目的＞

デフバスケット日本代表やデフ陸上のトレーナーの実績を持つ茨城ロボッツS&Cコーチ大塚氏が講師で、デフアスリートがより良い状態でバスケット競技に臨む基本的なトレーニング（コンディショニング）の講習会を行った。

＜内容＞

有償オンラインセミナー形式

5 国際競技会を含む大会イベントの開催及び運営に関する事業

〔第19回全国デフバスケットボール大会（石川ミニリーグ）〕

新型コロナウイルス感染拡大により開催中止

〔デフバスケットボール交流会〕

＜目的＞

初心者にも集まりやすい環境を作りバスケットを楽しむこと、外部からのコーチとのクリニックでは情報保障を保つため手話通訳者を用意し、デフバスケットボール選手のスキル向上の為に準備すること、会員から理事への直接の意見や要望を設け、そして交流を通じてさらによりよいデフバスケットボールを目指す。

＜内容＞

新型コロナウイルス感染症対策による使用施設に基づいた約40人の定員に達した。

〔第1回サマーキャンプ〕

＜目的＞

全国各地のデフバスケットボール選手および聴者を含む支援者が一堂に集い、デフバスケットボール普及の在り方を考える。一般のバスケットボールと違うバスケットボール競技におけるデフバスケットボールの魅力・特徴を探求した企画を実施し、より多くの人に知ってもらい、楽しめるキャンプにしたい。

＜内容＞

全国から男女合わせて約45名（見学を含む）の選手やスタッフが参加した。

〔第1回3×3デフバスケットボール大会（3x3 ENEOS CUP）〕

＜目的＞

3人制バスケットは世界的に普及が進んでいるが、国内における3人制デフバスケットボール大会の実績がなく、本大会により、3人制デフバスケットのさらなる普及と発展を図る。

＜内容＞

リーグ戦で競い合い、上位4チームがトーナメント戦を実施。

＜特記＞

男子10チーム、女子6チームが参加し、男子は滋賀LAMBELS、女子はScratch girlが優勝を飾った。

〔第9回全日本デフバスケットボール選手権大会（ENEOS CUP 2022）〕

＜目的＞

大会を通して、選手の技術を向上させると共に、日本代表強化指定選手の発掘及び人材育成を図る。ろう・聴覚障害児／者、関係する聴者、関係する子どもを育てる保護者等のすべての方に、バスケットボールの普及と発展やJDBAの在り方の相互理解を促し、賛同する方を増やしていく。

＜内容＞

トーナメント戦を実施。

＜特記＞

男子6チーム、女子4チーム（ゲスト招待：OTCくきや）が参加し、男子はONLYS誠ファミリー、女子は大阪ビバリードが優勝を飾った。

6 全国並びに国民に対する広報に関する事業

＜目的＞

当協会の活動内容を国民へ広く伝えるために、公式ホームページ、他団体の機関紙などを通じて宣伝広報する。

＜内容＞

インターネットを通じて会員及びその他の人々に向けて公式ホームページにて情報発信を行った。

＜特記＞

公式ホームページ：<https://jdba.jp/jdba/>

FacebookやTwitter、Instagramにて公式アカウントによる情報発信を行った。

7 会議の開催に関する事業

2022年度通常総会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年3月13日（日）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①2021年度事業報告
- ②2021年度会計報告
- ③2022年度事業計画（案）
- ④2022年度活動予算（案）
- ⑤篠原雅哉氏について、訴訟・登記・会員停止に関わる事由
- ⑥倫理委員会（仮）について

第1回臨時理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年2月6日（日）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①理事長代行の選任について
- ②理事の選任について

第2回臨時理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年2月18日（金）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①理事長代行の選任について
- ②篠原理事長の理事長辞任について
- ③佐知理事の理事長選任について

第3回臨時理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年3月4日（金）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①顧問の設置について
- ②定款改正について
- ③個人情報管理規定（案）について
- ④電子帳簿保存法に係る事務手続及び各事務の処理を定めた規定（案）について
- ⑤2021年度定期総会について
- ⑥JSCにより指摘事項に対する改善方策について
- ⑦理事及び監事の任期満了による退任及び再任について

第4回臨時理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年3月4日（金）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①規定の変更（表決ルール、委員会追加）について
- ②日本代表選手団の解散について

③理事の選任について

第1回理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年8月6日（土）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞

- ①スタッフ人員補充について
- ②九州デフバスケットボールフェスティバルへの協賛について
- ③代理人（弁護士）との委託契約について
- ④補正予算書（案）について
- ①日本代表に関する規定（案）について
- ②日本代表体制について
- ③中長期経営計画について

第2回理事会

＜開催日時及び場所＞

日時：令和4年11月10日（木）

場所：オンラインによる開催

＜議題＞①竹本圭佑理事の解任について

8 その他

デフスポフェスティバル

＜内容＞

様々な競技を通して、子どもたちがスポーツの楽しさを体験する

デフアスリートとの交流を通して、子どもたちが夢と希望を広げるきっかけを作る

＜概況＞

名称：第5回デフスポフェスティバル

主催：デフスポ運営委員会

共催：NPO法人サイレントボイス

日時：令和4年3月27日（日）

場所：関西大学 堺キャンパス体育館

担当：JDBA須田強化委員長、原重理事（大阪ビバリード）

わくわくデフスポーツ体験会

＜内容＞

デフの子供たちにスポーツの楽しさを伝えるイベントにて、デフバスケットボール選手が

当日スタッフとしてバスケットボールを指導する

＜概況＞

名称：第10回わくわくデフスポーツ体験会

主催：わくわくデフスポーツ実行委員会

日時：令和4年6月4日（土）～5日（日）

場所：明晴学園

担当：JDBA育成委員の勝野理事、山田選手等（東京スクラッチ）

デフスポーツフェスティバル

<内容>

様々な競技を通して、子どもたちがスポーツの楽しさを体験する

デフアスリートとの交流を通して、子どもたちが夢と希望を広げるきっかけを作る

<概況>

名称：第2回デフスポーツフェスティバル

主催：デフスポ運営委員会

共催：認定特定非営利活動法人ハートフル福祉募金

日時：令和4年12月3日（土）

場所：元気フィールド仙台 障害者アリーナ

担当：JDBA長谷川普及委員長、越前選手等（東京スクラッチ）

以上